

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心を育む教育の推進

<p><b>1 一人一人の児童生徒の尊重</b></p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> <p>「そう思う」の回答は児童が一番多かった反面、保護者と児童で「どちらかといえばそう思わない」の回答もある。引き続き、個に応じた学習指導や「先生と話すタイム」の活用にも努め、家庭との連絡を密に取りながら、日頃の実践を家庭にも伝える必要性があると思われる。</p>	<p><b>2 友達への思いやり</b></p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> <p>昨年度より若干評価は上がっているが、まだ児童と教職員の見取りの開きがある。思いやりに欠ける言動を目にすることもあり、生活目標で努力目標を考へさせたり、道徳や人権教育の充実により思いやりの心を育てたりする必要性を感じる。</p>	<p><b>3 道徳・心の教育の充実</b></p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実にも努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> <p>保護者の評価は、わずかであるが上がる。12月の授業参観で全クラス道徳の授業を行った成果が出ているのではないかと考えられる。参観後、保護者より「道徳の授業が子どもたちの心を育ててくれるのだと改めて感じました。」という感想をもらった。教職員もわずかであるが、「そう思う」という評価が上がっている。授業だけでなく、日常も含めて充実にも努められていると考えられる。</p>
--	---	--

②確かな学力を育む教育の推進

<p><b>4 意欲的な学習態度</b></p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者・児童・職員ともに「そう思う・どちらかといえばそう思う」が8割を超えており、学習に対する意欲は全体的に見ると高いと言える。しかし、昨年度と比較すると「どちらかといえばそう思わない」と回答している児童の割合が増えている。授業や学習意欲の充実を図り、指導改善や学習意欲の向上により一層努めていきたい。</p>	<p><b>5 授業力向上</b></p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>授業力向上においては、教師側の評価としては全員がわかる授業、楽しい授業づくりに努めているとしている。ICT機器も活用しながら授業の視点での授業づくりに努めてきた結果、8割の児童もそう感じている。ただし、約2割の児童は「わかる、楽しい」と感じていないため、今後より一層、児童の実態把握した上で教材研究に努める必要がある。</p>	<p><b>6 タブレット活用</b></p> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p> <p>タブレットの活用はどの学年でも進んでおり、児童の活用能力も向上している。その一方で、家庭で使い過ぎている児童の問題や、情報モラル教育が進んでいない実態もあるので、校内での共通理解を高めたい。</p>
---	--	--

③健やかな体を育む教育の推進

**7 健康づくり**

子どもは、好き嫌いをなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者と職員の評価は同程度であるが、自分ではできていないと自覚している児童がいることが伺える。行動を変えるには自分で気づくことが大切なので、しっかり自己評価しているのはよい傾向ではないかと思う。

**8 児童生徒理解**

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。

昨年度とほぼ同じような傾向であるが、児童の「そう思わない」の割合が少し増えているのは気になる点である。毎学期の「先生と話すタイム」の実施だけでなく、日頃から児童に寄り添い、理解に努め、信頼関係を築いていく必要がある。

**9 いじめや問題への対応**

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

毎週金曜日のみつめる会や毎月のみずなアンケートにより実態把握と共通理解を図りながら、個別の対応もしている。担任だけの対応ではなく、学年やSCの相談も含めて多様な対応を迅速に行っていきたい。

②特別支援教育の推進

**10 学校の支援体制**

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

「そう思わない」との回答が若干名あった。校内支援委員会を中心に支援体制の充実をより一層図り、保護者に対しての発信の機会を増やすよう努めたい。

**11 共生社会を担う人材の育成**

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

本年度は交流及び共同学習の様子を保護者に伝える機会が少なかった。学習発表会や授業参観などで交流の様子を公開するとともに、より有意義な交流及び共同学習の在り方についても考えていく必要がある。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

**12 安全と事故防止**

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

年間計画に基づき、学校全体で安全教育を行っている。避難訓練は、防災、地震、不審者対応等を行い、子ども達の意識の高まりは見られる。コロナ禍ということで、引き渡し訓練が昨年に引き続き行うことができず、保護者からの回答に表れたと認識している。今年度は避難訓練の際、避難経路をいくつか取り入れた。いつ、どこで、何があっても自分の命を守るために臨機応変に対応できる子どもの育成に努めている。

②最適な学習環境の整備

**13 施設・設備の安全管理**

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

全職員で毎日の安全確認と、月に一回以上は重点日を設け安全点検を行っている。施設の老朽化に伴い、学校職員での修理改善には限界が見られ、施設課と連携し対応を行っている。遊具等の老朽化が著しく保護者の回答にも反映していると考えられる。運動場の防球ネット修理や体育館の雨漏りの修理など、長年の不備改善に着手することができた。

③家庭・地域社会との連携強化

**14 教育方針・目標の理解**

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

「やさしく・かしく・たくましく」の校訓の下、全職員一丸となって本校の教育に取り組んでいるところである。学校ホームページでは、「週刊日吉くん」より各学年の学習の様子、各種お便りを掲載して情報発信に努めている。

**15 家庭や地域との連携協力**

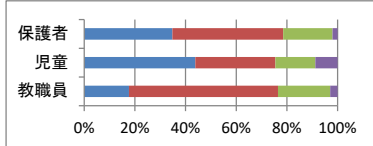
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

些細なことでも家庭に電話連絡や連絡帳のやり取りをしながら、教育を進めている。しかし、結果から十分伝わっていないところも受け止め、さらに密に連携を図っていく必要がある。

## ⑧本校の教育

### 16 あいさつの習慣づくり

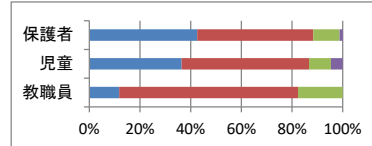
子どもは、笑顔で気持ちのよいあいさつができていますか。



あいさつができてきているという意識にそれぞれで差があることが分かる。あいさつを自然とできるような取り組みや朝からのあいさつ運動を実施したり、あいさつ名人を放送するなど、生活委員会で検討したことを実践しながら、あいさつの習慣づくりを高めていきたい。

### 17 規則の遵守

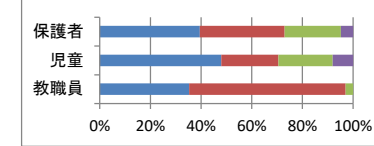
子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



きまりを守るという意識は保護者・児童と教職員との差が大きくある。きまりの内容についても検討をしながら、自分たちが決めたきまりを自分たちで守っていくという意識を高めるための取り組みを進めていきたい。

### 18 体かづくりの推進

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



新型コロナウイルスの影響で、放課後は家で過ごす児童が多いのが現状である。しかし、学校では朝や昼休みに元気に外に出て活動する意欲的な姿が見られる。体育の学習では、2年ぶりに実施した水泳をはじめ、様々な運動能力における個人差が広がってきているので、家庭と連携した取り組みも行っていきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 豊かな心を育むために
  - ・年に1度は、道徳の授業参観をしていく。(できたら本年度のように心ががやけ月間に合わせて)
- 確かな学力を育むために
  - ・ICT機器を効果的に活用しながら、授業UDの視点に立った授業づくりに努める。
- 健やかな体を育むために
  - ・さんさん生活週間について、保健日よりだけでなく学校だよりや学級通信でも取り上げ、充実した取り組みにする。
  - ・パワーアップタイムでは、子どもたちが意欲的に活動できるような内容を考え、運動の楽しさを味わわせることのできる時間にしていく。
- その他の取り組みについて
  - ・「先生と話そうタイム」などを活用し、一人一人の子どもの様子を十分把握する。教師自身が人権感覚を高めるとともに、いじめを見逃さず、互いに認め合う集団づくりを行う。
  - ・学校のきまりについて、内容の検討を行いながら、自分たちが決めたきまりを自分たちで守っていくための取り組みを進めていく。
  - ・タブレット活用と情報モラル教育を、校内研修に位置づけていきたい。
  - ・学校ホームページの掲載内容が、昨年度以前のまま更新されていないページがあるため、当年度のものに更新する。

## 学校関係者評価

- 登校中、大きな声で挨拶してくれるのが嬉しい。また、登校班は、上級生のリーダーシップの育成にもなり、後輩たちを危険から守る精神が宿ってくると思うのでとてもよい。
- キャリア教育で、建設業について実際協会の方から講義していただいた取り組みはとても有意義だと思う。これからの子ども達の目指す「職業」の参考になったと思う。
- 始業前に、運動場を元気に走りまわったり、ドッジボールをしたりしている姿は微笑ましく感じた。遊びを通して、生涯の友づくりになり、体力作りにもなっていると感じる。
- 子ども達が進んで学んでいくためには、いかに興味をもたせるかが大切である。
- コロナ禍で人との関りが薄くなっているが、学校内で関りを保てたらいいと思う。